

競技注意事項

1. 2019年、日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. 招集について
 - (1) 招集時間
種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので裏表紙の競技時間表で確認のこと
招集完了時刻には、移動が開始できるように余裕をもって集合すること。
 - (2) 招集所は、メイン競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。
 - (3) 主競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
 - (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた選手は出場を認めない。
招集時にスパイクピンを確認する。（オールウェザー用9mm以下）
 - (5) リレー種目はオーダー用紙を招集完了の1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。（決勝も同様）
 - (6) オーダー用紙は招集所とTICに準備する。
 - (7) リレー種目は4人のユニフォームを揃えること。招集所でチェックする。
 - (8) 電子機器類の競技場への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）
招集所で持ち物をチェックすることがある。
3. 表彰について
 - (1) 各種目8位までの入賞者・チームは、表彰を行う。
8位入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室（競技場正面玄関：エントランス）に集合すること。
4. 競技方法について
 - <トラック競技>
 - (1) スターターの合図はイングリッシュコール「On your marks」「Set」とし、信号は電子音で行う。
 - (2) スタートはクラウチングスタートを原則とする。（60m・80mH・100m）
スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。（素足は禁止する）
 - (3) 同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 - (4) トラックレース（短距離）において、スタート前に腰ナンバーカードの代用として、レーンを示す色テープを配布するので、右腰やや後方に貼り付けること。
 - (5) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - (6) 800mのスタート方法は、オープンスタートとする。
 - (7) リレー競走（男女混合4x100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
（補欠についても男女各1名ずつとする）
 - (8) リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。

- (9) テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- (10) リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同色同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- (11) リレー競走のエントリー者のうち、リレー競走に出場しない選手は友好レース（100m）に出場できる。8：30 までに出場者を書面にてT I Cへ提出のこと。
- (12) 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- (13)トラック種目の予選は、タイムレースを原則とし、上位8チーム（人）により決勝を行う。

<フィールド競技>

- (1) 走高跳の飛び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。

コンバインドA 走高跳のバーの上げ方（天候により変更有）

（練習） （開始）

0m90 0m95 （以後5cmきざみとする）

- (2) 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- (3) 走幅跳のピットは、メインスタンド側よりA～Bピットとする。
- (4) コンバインドBのジャベリックボール投げの練習は、主競技場内で実施する。補助競技場および競技場周辺での練習は厳禁とする。
- (5) ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
- (6) ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。ジャベボールを使用する。

<コンバインド競技>

- (1) 本大会におけるコンバインド競技は以下の順とし、最初の競技が終了後、係が次の競技場所へ誘導する。
- (2) コンバインドA：①80mハードル、②走高跳
- (3) コンバインドB：①走幅跳、②ジャベリックボール投
- (4) 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』による。
- (5) 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- (6) スタートまたは試技を行ない、記録無し、失格の場合は、0点とする。
- (7) スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- (8) 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- (9) 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- (10) 1位の選手が2名以上出た場合の全国大会出場者の決定方法は、下記の通りとする。
 - ① 各種目のいずれかで、より上位の順位となった競技者とする。
 - ② 上位の順位が同じ場合は、残った種目の順位でも比較し、より上位の順位となった競技者とする。
 - ③ それでも決定しない場合は、該当選手により抽選を行う。

5. 主競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

6. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

7. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

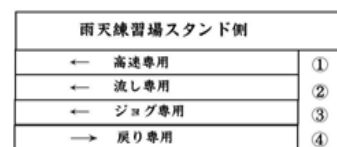
- (1) 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。(IDで規制する)
- (2) ベンチを設置することを禁止する。
- (3) ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- (4) 1レーンは、長距離のペース走専用とする。2～4レーンは、流し等の専用とする。
- (5) 直走路5～7レーンはスタートダッシュ専用とする。8レーンはハードル専用とする。
- (6) リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- (7) 走幅跳の練習は所定のピットで行う。
- (8) 走路及びピットに立ち止まるとの指導等を禁止する。
- (9) 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。
- (10) その他、競技役員の指示に従うこと。

8. 雨天練習場の使用については、次のことを厳守すること。

(1) スタンド側より

- 1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。
 - 3レーンはジョグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。
- 走路の横断は厳禁する。

(2) 全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

9. その他

- (1) 投てき場および多目的広場は、使用禁止とする。
- (2) 雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。
- (3) 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- (4) スタンドは防水処理加工がされているため、ベンチでの重石やガムテープの使用、スパイク着用での歩行を厳禁する。
- (5) メインスタンドにテントの設置を禁止する。15列目から上の席にベンチを置くことは可とする。
- (6) プログラムの訂正は8時30分までにTICまで申し出ること。
- (7) 申込不備による訂正は受け付けない。競技開始後の訂正は一切受け付けない。
- (8) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。
持ち物の保管は各自で責任を持つこと。また、カラス被害に注意のこと。
- (9) 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。(最前列は禁止)